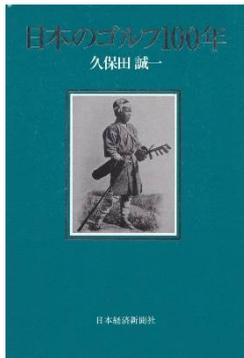


# 日本のゴルフ 100 年

久保田 誠一

## ★ 出版記録



- ・著者：久保田 誠一
- ・発行者：小林 俊太
- ・発行所：日本経済社  
〒100-8066  
東京都千代田区大手町 1-9-5
- ・連絡先：TEL 03-3270-0251
- ・初版発行：2004年7月23日
- ・定価：本体2,400円（税別）

## ★ 著者略歴

1938年 生まれ。

茨城県立下妻第一高等学校、東京大学教養学部教養学科卒。

朝日新聞ニューヨーク支店長、ヨーロッパ総局長などを歴任。

東京純心女子大学現代文化学部教授、モンレー国際大学客員教授を経て、現在、大妻女子大学比較文化学部講師。

新聞記者時代からゴルフ史に強い関心を持ち、国内外のゴルファー、トーナメント、ゴルフ関係者に独自取材を重ねながら、ゴルフ関連資料を収集。

本書は300冊を超える資料の分析と綿密なインタビュー取材に基づいている。

ゴルフ史研究者。

著訳書に、『スパイキャッチャー』『グレイズーン・シンプソン裁判で読むアメリカ』『ヒトラーの外交官』『アーノルド・パーマー、わがゴルフ闘争記』などがある。

## ★ 目次

- 序章 ラフに消えたルーツ
- 第一章 一に神戸、二に横浜
- 第二章 生糸商と日銀総裁
- 第三章 昭和天皇と大谷光明
- 第四章 大活躍した六人のサムライ
- 第五章 アリソンと日本人設計家
- 第六章 戦争とゴルフの「二人三脚」
- 第七章 戦時下の日本のゴルフ
- 第八章 GHQの命令は「神の声」
- 第九章 「主役」交代を促した朝鮮戦争

- 第10章 ゴルフ大衆化時代へ
- 第11章 ブームを呼んだカナダカップ
- 第12章 日米グリーン首脳会談
- 第13章 マスターズへ挑戦
- 第14章 ビッグスリーの魅力と実績
- 第15章 アメリカで力をつけた樋口久子
- 第16章 民間大使－岡本綾子の功績
- 第17章 青木とニコラス
- 第18章 太平洋とアジアの懸け橋
- 第19章 ゴルフで深まる日米交流
- 第20章 日本がメジャーを制覇する日
- 終章 「山あり谷あり」の100年

★ 本文引用



「 プレーするだけでなく、ゴルフの歴史を繙いてみよう。書架にゴルフ本が並びだしたのは、そう思い立ってからである。六甲山中に1903年に日本に初めてのコースがオープンしたことを知ったのも洋書による。

・ ・ ・ ・ ・

日本でゴルフ史の取材を始めたのは特派員生活に終止符を打ってまもない1993年からである。手始めに神戸ゴルフ倶楽部六甲コースに出掛け、プレーを楽しみ、芦屋に住んでいた開祖グループのお孫さんから話を聞き、資料を収集して東京に戻った。

・ ・ ・ ・ ・

兵庫県の広野ゴルフ倶楽部にある日本ゴルフミュージアム、東京ゴルフ倶楽部資料室、国立国会図書館、大宅壮一文庫などに通って資料に目を通し、各地のゴルフ倶楽部に出掛けてクラブ員に配っている会報や記念史(誌)を読ませてもらった。クラブの支配人、プロ、キャディなど関係者へのインタビューを並行して続けた。」

———— ( 終章「山あり谷あり」の100年 ) より抜粋 ————

★ 本書に関して

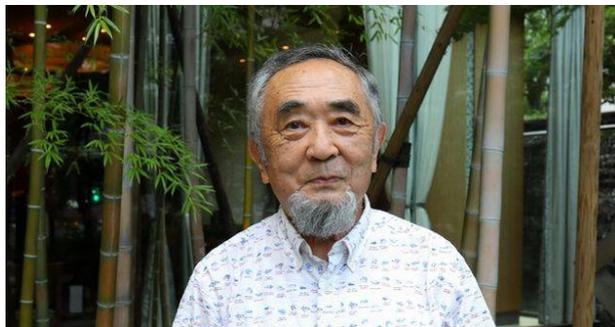


2020年5月中旬、栃木県のゴルフ場を取材中に、本書の著者である久保田氏よりお電話をいただいた。

初めて頂いた電話だったが、私は久保田氏のお名前を伺い、即座に氏がお書きになられた本のタイトルが、浮かび上がって来た。何故ならば久保田氏がお書きになった著書を、今まさに私が買い求めようとしていたからである。

この様な出会いがあるものだろうか、不思議な感覚になったのを鮮明

に覚えている。その後翌年の2021年晩夏、池袋のホテルでお目にかかせて頂いたのだが、その時記念に撮らせて頂いたのが下記写真である。



< 2021年8月池袋のホテルにて >

本書の1版1刷は2004年7月23日に発行された。その約100年前の1903年に、9ホールの神戸ゴルフ倶楽部六甲コースが誕生している。これが日本に於ける記念すべき、ゴルフ場第一号である。

その第1号ゴルフ場誕生から約100年後に著者が、綴った本書は何とゴルフ100年史である。日本に於けるゴルフ100年を振り返った本書は、20章で構成されている。その390ページに及ぶ内容は、著者が参考文献とした膨大な資料に裏打ちされている。

著者はかつて1998年4月から1年間、アメリカで発行された週刊新聞「ザ・ヨミウリ・アメリカ」へ、41回に渡り「日米ゴルフ交流史」を連載していた。これが下敷きになり、本書は陽の目を見たのであるが、氏の地道なこれら様々な研究の成果とも言える。

著者は上記略歴にもある様に、ゴルフ史研究家その名に相応しい人物であり、本書は貴重なゴルフ史の一冊に仕上がっている。

私は常に手の届くところへ本書を置いており、時々ページをめくり参考にさせて頂いている。是非ご一読頂きたい一冊である。

なお本書は品切れにつき、2022年11月10日時点で、重版未定との事。

2022年11月10日

文\_\_大野良夫

◎ Yoshio Oono

日本ゴルフジャーナリスト協会 会員